学生の皆さんへ

〜出雲キャンパスに、医学部に、そして附属病院にウイルスを持ち込まない〜

文責　医学部長　鬼形和道

皆さん、こんにちは。私は、昨年に引き続き今年の連休（GW）も島根県内で過ごすこととしました。

COVID-19 感染症の拡大は止まらず、今週の日曜日 25 日には、4 都府県（東京・大阪・京都・兵庫）に 3 回目の緊急事態宣言が発出される予定です。島根県内でも、一昨日から感染者の報告が相次いでいます。

この 1 年間、COVID-19 感染症に対する共闘を通して、あるいは学内クラスターの発生から、私たちは感染防御あるいは生活様式について多くの事を学んできました。したがって、日本の現状を冷静に見つめる時、私たちは一つの強い決意を社会に示す必要があります。「出雲キャンパスに、医学部に、そして附属病院にウイルスを持ち込まない」、そんな行動を共に取りましょう。今回、附属病院を有する出雲キャンパスの感染防止対策が強化されました。先ず、島根大学 HP に掲載されている「感染注意地域」を確認下さい。そして、医学部 HP の学生生活（帰省・アルバイト・病院見学等）の記載を確認願います。この連休に帰省を予定していた方もいると思いますが、どうか県外への移動を自粛下さい。もちろん、県内滞在中も感染防御とともに、他人に感染させない行動をお願いします。

メッセージが今日になった理由は、時々刻々と変化する感染状況に対する行政、そして大学・医学部・附属病院における調整が必須であることを理解いただければ幸いです。

今日も、全国の医療従事者は大変な緊張の中で人々の命を守るために働き続けています。皆さんは社会から期待され、かつ注目される医療人を目指す学生であることを忘れないで下さい。